

令和 8 年度 相談窓口担当者向け自殺予防相談対応講座（中級編）

窓口相談に来られる方に“気になる”方はいませんか？

佐賀県の自殺者数は40歳から50歳代の働き盛りの世代、特に60代以上の高齢者の自殺者の割合が高くなっています。

「もし『死にたい』と言われたらどうすればいいの？」

「気になっているけれど、どうしていいかわからない・・・。」そんな方にぜひ受講していただきたい講座です。自殺のリスクが高い方への対応に加え、大切な人を亡くした悲しみや喪失感を抱える方（自死遺族等）への関わり方も含めて、深刻な悩みを抱える相談者にどう接すればよいかを一緒に学びませんか？

【対 象】 ①失業・貧困・高齢者など自殺のリスクの高い人が来所する可能性が高いと考えられる相談窓口担当者

（生活自立支援センター、ハローワーク、DV 総合支援センター、女性相談窓口、労働局

少年サポートセンター、地域包括支援センター、商工会議所、県保健福祉事務所、市町自殺担当者等）

②相談対応の経験がおおむね3年目以上の方

【日 時】 令和8年12月3日（木）13：30～16：30（受付13：00～）

【内 容】 実施要領 講座プログラム参照

講師：関西学院大学人間福祉学部人間科学科教授

「悲嘆と死別の研究センター」センター長 坂口 幸弘 氏

講師紹介：

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了、博士（人間科学）。死別後の悲嘆（グリーフ）やグリーフケアをテーマに、心理学的観点から研究・教育に携わるとともに、ホスピス、葬儀社、行政機関、市民団体等と連携した実践活動を行っている。

【定 員】 40名まで ※同一所属からの受講は2名以内

【場 所】 アバンセ第2研修室 （佐賀市天神三丁目2-11）

【受講料】 無料

【申し込み】 下記二次元バーコードもしくはURL から申し込み

<https://logoform.jp/form/jbBd/1651348>

入力後は、忘れずに「送信ボタン」をクリックしてください。



【申込締め切り】 令和8年11月20日（金）

【問合せ先】 佐賀県精神保健福祉センター 相談・指導担当 TEL：0952-73-5060